

1 研究主題

社会と連携しながら未来の創り手を育むキャリア教育の推進
～「キャリアプランニング能力」と「課題対応能力」の育成を中心に～

2 全体会

全体会Ⅰでは、研修係の小牧徹郎教諭が研究発表を行いました。その中で、小野小学校では、児童のよさや課題を踏まえ、キャリア教育において育成を目指す四つの基礎的・汎用的能力のうち、「キャリアプランニング能力」と「課題対応能力」の育成を中心に研究を進めてきたことや、キャリア教育の要である「学級活動(3)」、地域と連携・協働して行う総合的な学習の時間「小野っ子チャレンジワーク」、家庭と連携して取り組む「志の葉」の実践について紹介しました。

全体会Ⅱで、高見憲次校長は、「コロナ禍による制限はあったが、できることを試行錯誤して取り組んできた。本校区の強みは、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、社会との連携・協働によりその実現を図っていくことができる地域性が根付いていること。その強みを生かし、今後もキャリア・パスポートや体験活動等の取組を進め、研究の深みを目指したい。」と述べました。



【研修係による研究発表】



【校長挨拶】

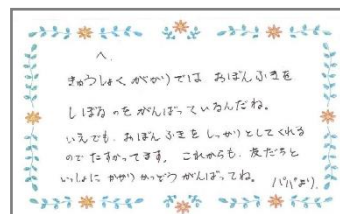
3 分科会

(1) 第2学年 学級活動(3)「係活動100点満点大作戦」

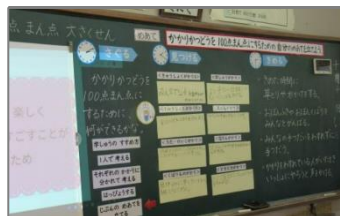
2年生は、学級目標「にこにこ笑顔で思いやりのある2年生」を実現するために、必要な係活動を決めて取り組んできました。授業では、これまでの取組を振り返った上で、目標の達成に向けて更に必要な考え方や行動について全員で話し合い、出し合った意見を生かして個人の目標を立てる学習活動を行いました。

授業者の塩田真也教諭は、児童の係活動に対する課題意識を高めるために、学級目標に込められた思いや願いを想起させたり、事前アンケートの結果を紹介したりしました。さらに、児童が、課題解決のための具体的な方法を知り意欲をもって係活動に取り組むことができるように、3年生からのアドバイスカードや保護者からの応援メッセージを活用しました。

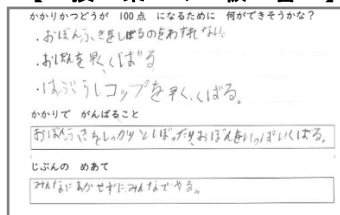
児童は、係活動を100点満点にするために大切にしたいことを話し合った後、自分にできることを考えてキャリア・パスポートに記入していました。



【保護者作成応援メッセージ】



【授業の板書】



【児童が立てた目標】

(2) 第5学年 総合的な学習の時間「小野っ子チャレンジワーク」

5年生は、総合的な学習の時間に、霧島市内の企業や事業所の協力を得て、仕事の内容や、仕事に取り組む上で大切にしたい考え方や姿勢などを体験的に学ぶ「小野っ子チャレンジワーク」を行いました。授業では、前時までに作成した「チャレンジワークを通して学んだことや考えたこと」を基に、学校で学ぶことと社会で働くことの関わりについて考える学習活動を行いました。

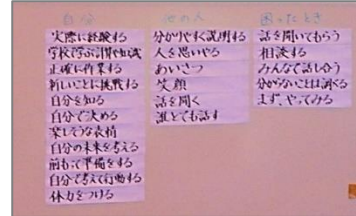
授業者の坂口広樹教諭は、児童が学校で学んでいることと社会・職業生活との関連に気付くことができるように、児童が発表した「働く上で大切なこと」を整理して板書にまとめました。また、自分の考えをまとめたり、説明したりすることが難しい児童を想定し、話合いの順序を示したり発表カードを準備したりするなどの支援を工夫しました。

児童は、「働く上で大切なことは学校で学んでいることとつながっている。」「学校で学んでいることは働く上でも大切だ。」など、グループで話し合ったことを全体で共有していました。

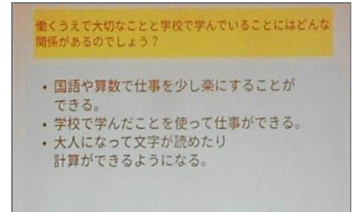
なお、今回は、授業参観及び授業研究について、児童の学びの姿を根拠に授業検証を行う「コアスクールプロジェクト」の考え方や手法を一部取り入れて実施しました。参加者は、児童の発言や記述内容といった客観的な事実に基づいて、児童の学びを解釈したり、学びの背景にあった授業者の働きかけを検証したりしていました。



【小野っ子チャレンジワーク】



【授業の板書】



【話し合ったことの共有】

家庭と連携して取り組む「志の葉」の取組について

小野小学校では、「志」という言葉と想いをキャリア教育の中核に据えが教育活動を推進しています。全校児童は、毎年、“なりたい自分”を「志の葉」に記入し、児童玄関に掲示しています。この取組は、児童一人一人の未来の指標と日々の生活の励みとなっています。

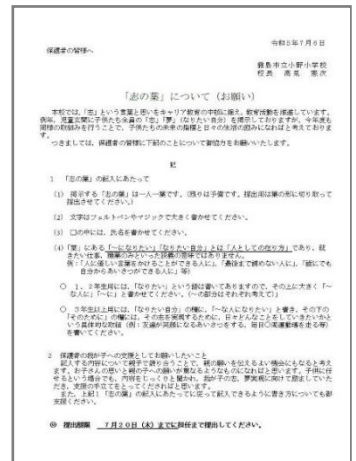
「志の葉」の作成に当たっては、学校から各家庭へ依頼文を出し、家庭と連携して取り組むことができるよう工夫しています。具体的には、児童がキャリア・パスポートを家庭に持ち帰り、キャリア・パスポートに記載されているこれまでの学校生活の取組や今年一年の学校生活の目標、将来の夢などについて親子で一緒に振り返ります。その上で、児童の“なりたい自分”や“なりたい自分になるための具体的な取組”について親子で話し合って作成します。



【「志の葉」について話し合う親子】



【玄関に掲示された「志の葉」】



【学校から各家庭への依頼文】